

# 開く LandXML (.xml)

## 目次

1. 機能 .....	1
2. ダイアログ .....	1
3. 更新記録 .....	3

## 1. 機能

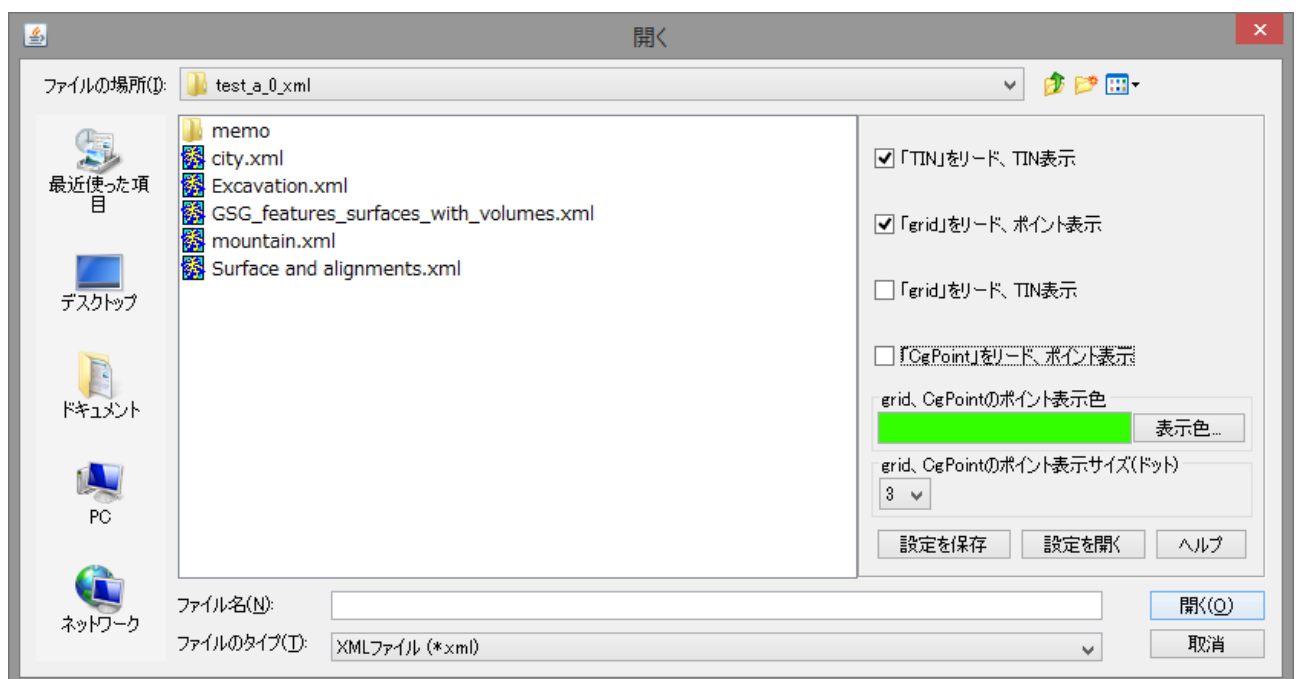
LandXML の.xml ファイルを開き、3D 表示します。

現在、LandXML 中の以下の要素に対応しています。

要素	表示
TIN	TIN の三角ポリゴンを表示します
grid	grid を構成するポイントを表示します grid のポイント<P>は東西・南北に同一間隔で並んでいるものとします
grid	grid の四角形内に二つの三角形に分け、TIN として表示します grid のポイント<P>は東西・南北に同一間隔で並んでいるものとします
CgPoint	CgPoint のポイントを表示します

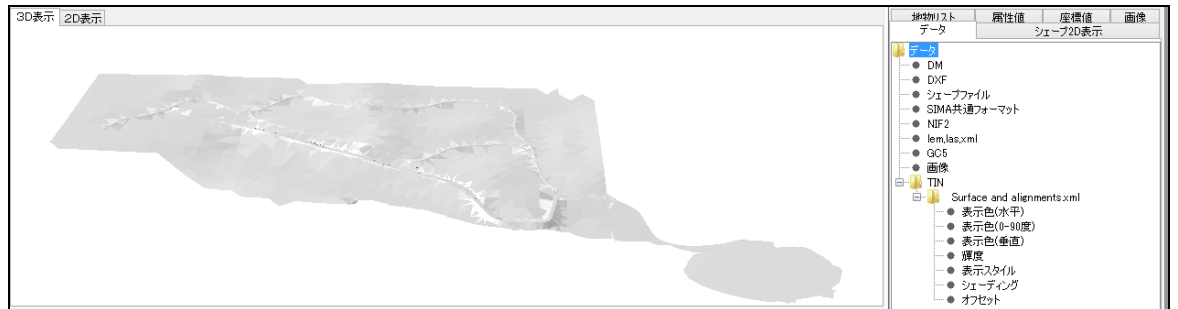
上記以外の要素は未対応です。

## 2. ダイアログ



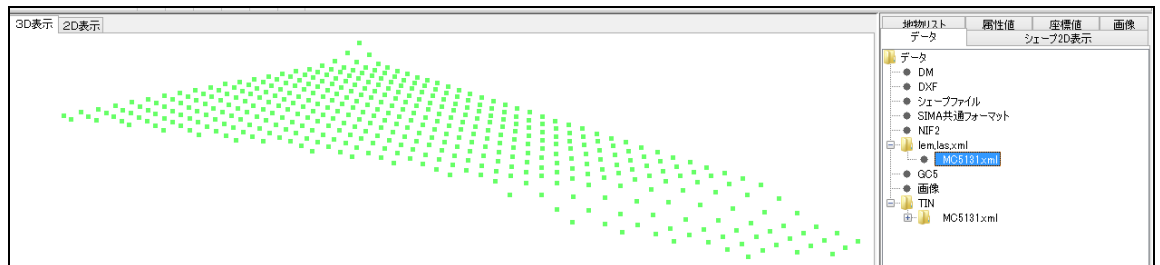
### 「TIN」をリード、TIN表示

LandXML中の「TIN」をリードし、TINとして表示します。



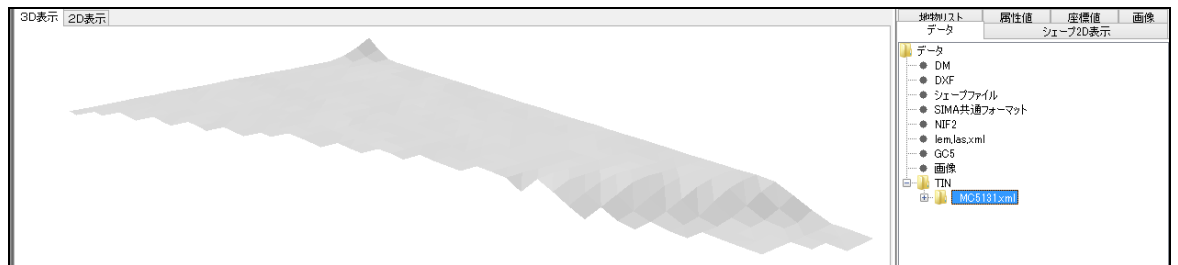
### 「grid」をリード、ポイント表示

LandXMLの「grid」をリードし、グリッドを構成するポイントを表示します。

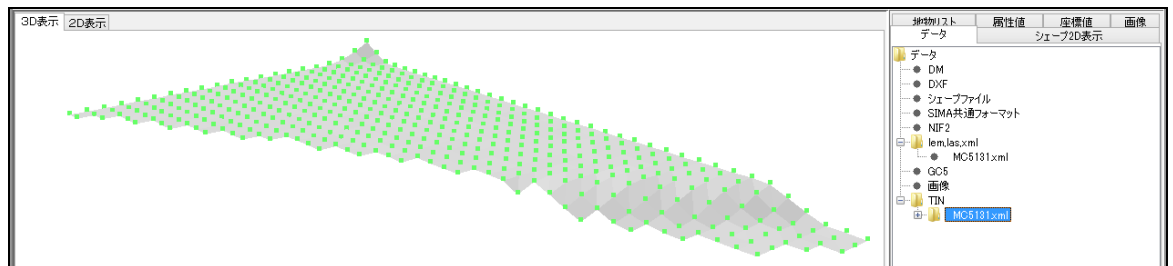


### 「grid」をリードし、TIN表示

LandXMLの「grid」をリードし、グリッドの4点の四角形内に二つの三角形を作成して、TINとして表示します。



下図は、「grid」のポイントとTINの両方を表示した例です。



### 「CgPoint」をリードし、ポイント表示

LandXMLの「CgPoint」をリードし、ポイントを表示します。

### grid、CgPoint のポイント表示色

「grid」をポイントで表示する際の色、「CgPoint」の色を指定します。

### grid、CgPoint のポイント表示サイズ

「grid」のポイントと「CgPoint」の表示のサイズをドット数でしています。

```
開く LandXML(xml) 開始...
D:\work\2016\201608グリッドのLandXML\test_0_1_LandXML\MC5131.xml
D:\work\2016\201608グリッドのLandXML\test_0_1_LandXML\MC5131.xml ...
リード D:\work\2016\201608グリッドのLandXML\test_0_1_LandXML\MC5131.xml
要素「Definition」の要素「P」の数 = 454
要素「Definition」の要素「F」の数 = 397
グリッドの間隔 = 1.0
グリッドの点数=454
グリッドの範囲 X=-75220.5 ~ -75200.5 東西=20.0
グリッドの範囲 Y=-75936.5 ~ -75900.5 南北=36.0
グリッドの範囲 Z=382.399 ~ 384.578 標高差=2.1789999999999736
1個のxmlファイルを読みしました
処理時間: 148ミリ秒
開く LandXML(xml) 終了
```

ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 確認リスト 断面

レポートパネルには、参照した LandXML の情報をレポートします。

## 3. 更新記録

2016/08/21

この説明書を作成。

2016/09/02

CgPoint の表示を追加。